

# 平成30年度 あだちっ子歯科健診実施結果報告書

あだちっ子歯科健診は、年少児(4歳)～年長児(6歳)が在籍する区内すべての教育・保育施設で、「統一基準の歯科健診、丁寧な受診勧奨、結果の集計・分析・フィードバック」をセットに実施している。30年度は本格実施から4年目を迎え、すべての年齢でむし歯がある子どもの割合が減少するなど、むし歯予防の取り組みの成果が出てきている。

平成30年度の実施結果について、以下のとおり報告する。

平成30年度 あだちっ子歯科健診実施結果報告書・目次	
1	平成30年度施設参加率と受診率 <span style="float:right">P 1</span>
2	平成30年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】 <span style="float:right">P 2</span>
(1) 「乳歯にむし歯がある子ども」の割合が減少 (2) 「未処置のむし歯がある子ども」の割合が減少 (3) 平成30年度年長児(6歳児)における通園施設別むし歯有病率からみえること	
3	むし歯がある子どもの割合の推移【平成27年度・30年度の比較】 <span style="float:right">P 3</span>
4	令和元年度の主な取り組み <span style="float:right">P 4</span>
5	糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー【中間見直しによる改定版】進捗状況 <span style="float:right">P 4</span>
6	資料編 <span style="float:right">P 5</span>

## 1 平成30年度施設参加率と受診率

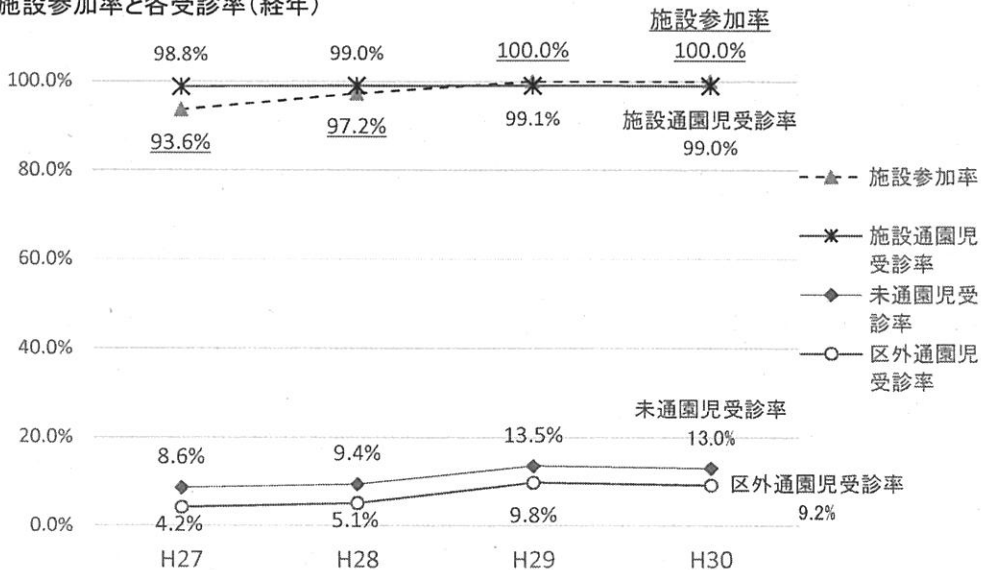
### (1) 教育・保育施設の参加状況

区内すべての教育・保育施設、計188施設(前年度比+9施設)で実施した。30年度は、保育施設の実施期間を5月～8月に前倒したことで、治療(受診)勧奨期間の延長に繋がり、結果として、保育施設の「治療(受診)報告書」の提出率が増加した(P9表8)。

### (2) 歯科健診受診率

施設内受診率99.0%(前年度比-0.1ポイント)、未通園児13.0%(前年度比-0.5ポイント)、区外通園児9.2%(前年度比-0.6ポイント)で、全体としては、92.3%と前年度と同様の受診率であった。平成27年度から経年でみると、施設内受診率は横ばい、未通園および区外通園児は増加傾向となっている。

(図1) 施設参加率と各受診率(経年)

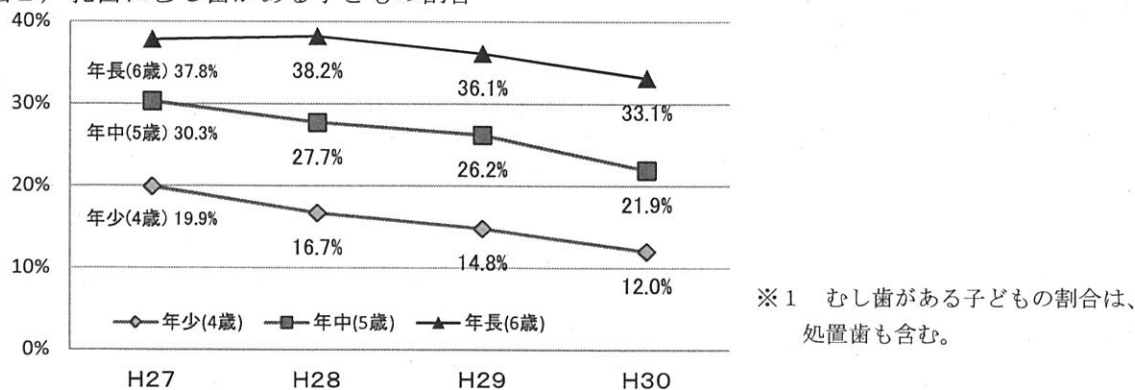


## 2 平成30年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】

### (1) 乳歯にむし歯がある子どもの割合※1が減少した

年少児(4歳)～年長児(6歳)すべての年齢で、前年度より減少した。特に、年中児(5歳)は、前年度比-4.3ポイントと大幅に減少している。

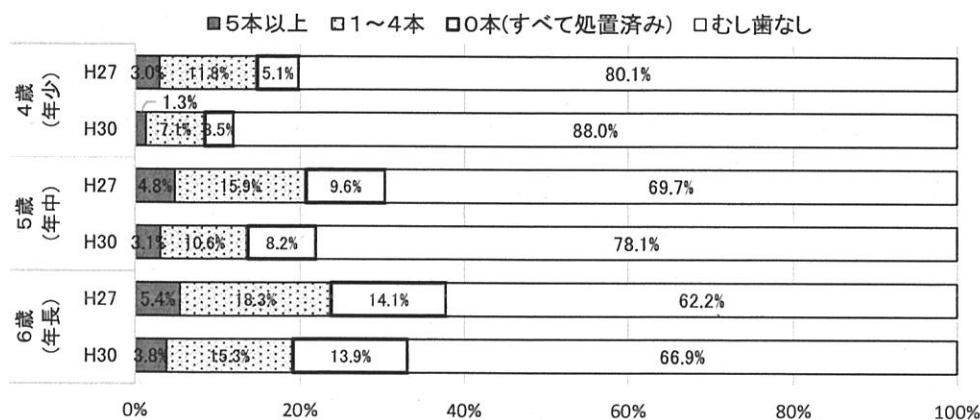
(図2) 乳歯にむし歯がある子どもの割合



### (2) 未処置のむし歯がある子どもが減少した

年少児(4歳)1.3%、年中児(5歳)3.1%、年長児(6歳)3.8%が、5本以上未処置のむし歯を保有しているが、その割合は、すべての年齢で27年度より減少している。

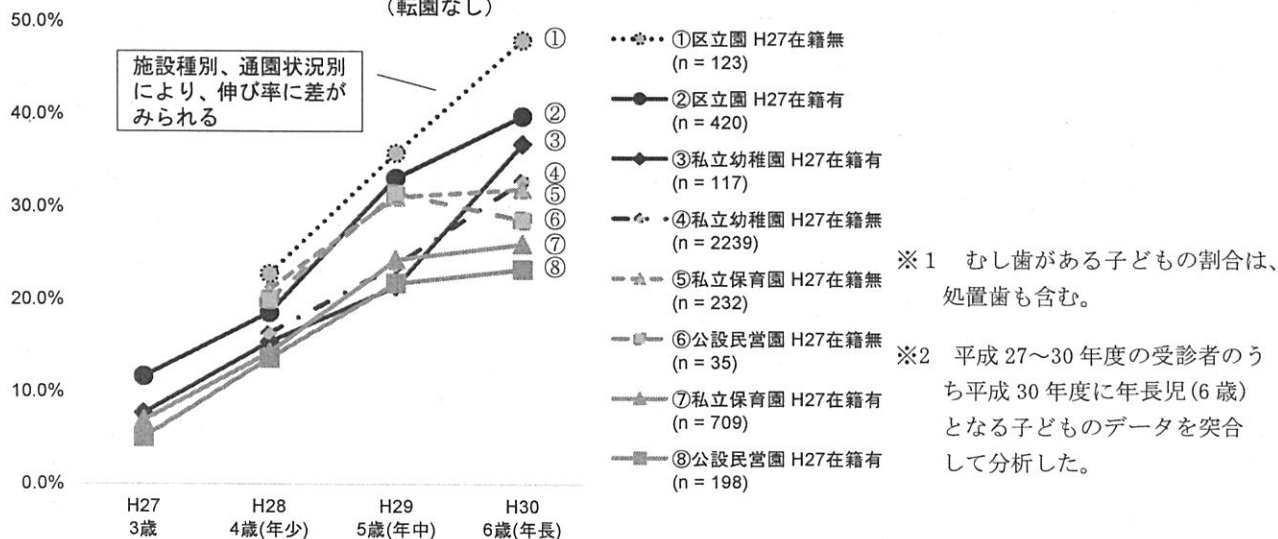
(図3) 未処置のむし歯がある子どもの割合(H27年度・30年度比)



### (3) 平成30年度年長児(6歳児)における通園施設別むし歯有病率※1からみえること

3歳から4か年同一施設に通園している子ども※2は、4歳(年少児)以降に入園した子どもに比べて、むし歯有病率が低い傾向にある。また、施設種別により、むし歯有病率の伸び率に差がみられる。

(図4) H30年度末6歳児の乳歯むし歯有病率変化(転園なし)

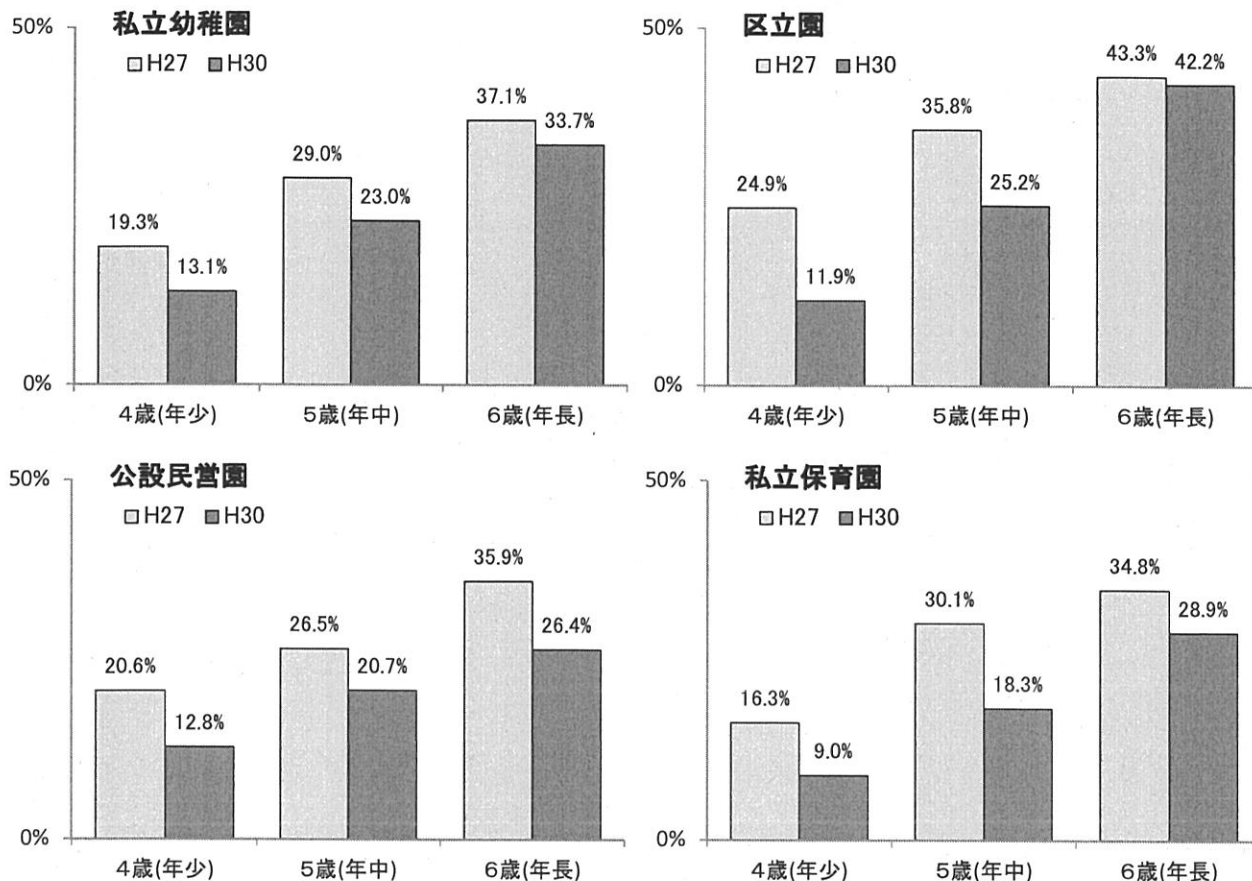


### 3 むし歯がある子どもの割合※1の推移【平成27年度・30年度の比較】

#### (1) 施設種別むし歯がある子どもの割合（平成27年度・30年度比較）

あだちっ子歯科健診が本格実施となった27年度と30年度を比較すると、施設種別で差は見られるものの、すべての年齢で「むし歯がある子どもの割合」が減少している。

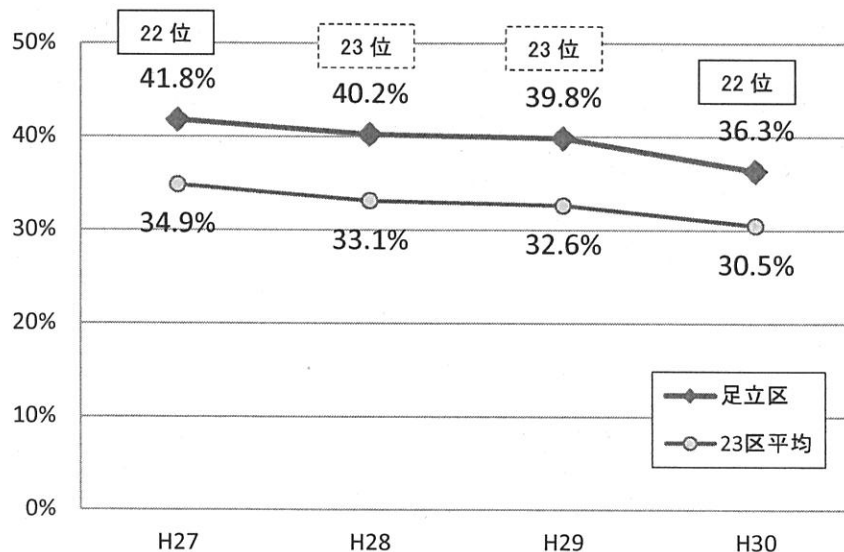
(図5) 施設種別むし歯がある子どもの割合



#### (2) 小学1年生のむし歯がある子どもの割合（平成27年度～30年度）

小学1年生のむし歯がある子どもの割合は年々減少し、平成30年度は、特別区で最も多い状況を脱し、22位となった。就学前のむし歯の状況の改善が起因していると考えられる。

(図6) 小学1年生のむし歯がある子どもの割合



※1 むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む。

#### 4 令和元年度の主な取り組み【子ども家庭部、衛生部が連携して取り組む】

##### (1) 集計・分析結果を活用した「子どもの歯の健康づくり」の推進

###### ① 未処置のむし歯が多い子どものフォロー

5本以上のむし歯すべてが未処置である子どもの後追い調査を行い、必要に応じて子ども家庭部・衛生部の歯科衛生士が園訪問を行い、状況確認及び個別指導等を行う。

###### ② 年少児から「給食後の歯みがき」をスタート

給食後の歯みがきを年少児から実施していない施設に対して協力を呼びかけ、園および家庭での歯みがき習慣づくりを強化する。

###### ③ むし歯の伸び率が高い施設への取り組み

30年度に実施した「生活・ベジタベアンケートと歯科健診結果の突合分析」を基に、優先順位の高い施設で「仕上げみがきや甘味習慣」の取り組みを実施する。

###### ④ 仕上げみがき動画・子どもの歯みがきマニュアル(改訂版)の作成

「歯みがきスキルの向上」を目指し、保護者向け仕上げみがき動画ならびに関係機関向け歯みがきマニュアルを作成・配布する。

##### (2) 未通園児の健診受診の推進

未通園児については、早期に複数回、ハガキ、SNS等を活用しながら情報を発信し、関係機関からの働きかけなど、さらに受診の勧奨をすすめていく。また未受診者の家庭状況を把握し、原因を検証し対策を講じていく。

##### (3) 学齢期の歯科健診データとの分析を実施

学校定期健康診断のデータ化に合わせて、乳歯と永久歯のむし歯の関係について分析・検討を行う。

#### 5 「糖尿病対策アクションプラン- 歯科口腔保健対策編-【中間見直しによる改定版】」進捗状況

あだちっ子歯科健診に関連する実績値及び目標値は、下記のとおりである。5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合(年長児)は1ポイント減少したため、目標を下回った。

(表1)

		28年度実績 (2016年度)	29年度実績 (2017年度)	30年度実績 (2018年度)	2022年度 目標値
① あだちっ子 歯科健診(4 ~6歳児)の 受診率を向上 させる	私立幼稚園・認定こども園	98.7%	98.7%	98.6%	100%
	区立保育園・認定こども園	99.1%	99.3%	99.5%	100%
	公設民営園	99.0%	99.4%	99.2%	100%
	私立保育園	99.7%	99.7%	99.5%	100%
	認証保育所	98.5%	98.2%	98.7%	100%
	未通園児等	7.7%	12.1%	11.6%	15%
② 受診(治療) 報告書提出率	私立幼稚園・認定こども園	4.9%	56.3%	57.4%	60%
	区立保育園・認定こども園	6.2%	67.0%	76.9%	75%
	公設民営園	6.1%	67.1%	73.3%	75%
	私立保育園	6.8%	67.2%	73.2%	75%
	認証保育所	7.0%	52.4%	61.8%	75%
	未通園児等	5.0%	54.3%	37.7%	60%
③ むし歯がない子ども の割合	年長児	61.8%	63.9%	66.9%	70%
	小学1年生	59.8%	60.2%	63.7%	65%
④ 5本以上未処置のむし歯がある子ども の割合(年長児)		5.1%	4.8%	3.8%	4.8%

# —資料編—

## 1 平成30年度あだちっ子歯科健診の実施結果

### (1) 参加状況および実施時期

すべての教育・保育施設で実施している。30年度は、歯科健診の結果、治療が必要な子どもへの受診勧奨の期間を長くするため、保育施設の実施時期を5月～8月に前倒した。区内の教育・保育施設に通っていない子ども（以下、「未通園児等」という）へは、個別に通知を発送している。

(表2)

	施設数	参加数	参加率 (H28年度)	実施時期	備考
私立幼稚園 私立認定こども園	51	51	<b>100%</b> (100%)	平成30年5月～7月	
区立保育園 区立認定こども園	31	31	<b>100%</b> (100%)	平成30年5月～8月 ※9月～11月から変更	
公設民営園	16	16	<b>100%</b> (100%)		
私立保育園	79	79	<b>100%</b> (100%)		
認証保育所	11	11	<b>100%</b> (100%)		年少児以上が在籍する施設
未通園児等	H30.9.1を基準日とし対象者を抽出			平成30年9月～11月	個別通知による歯科健診の勧奨

### (2) 受診状況【各施設からの集計報告による実績値】

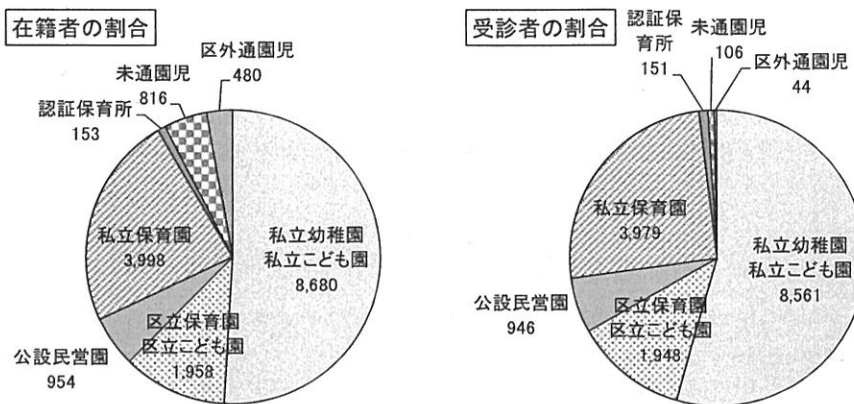
(表3)

※在籍者は、区外在住者を含む。未通園児等の在籍者は、対象者数を記載。

		年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		合計(人数)		
		在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者 (H29年度)	受診者 (H29年度)	受診率 (H29年度)
私立幼稚園 私立認定こども園		2,802	2,750	2,870	2,838	3,008	2,973	8,680 (9,015)	8,561 (8,901)	<b>98.6%</b> (98.7%)
区立保育園 区立認定こども園		607	604	669	665	682	679	1,958 (2,262)	1,948 (2,246)	<b>99.5%</b> (99.3%)
公設民営保育園		302	297	324	323	328	326	954 (964)	946 (958)	<b>99.2%</b> (99.4%)
私立保育園		1,410	1,402	1,311	1,305	1,277	1,272	3,998 (3,452)	3,979 (3,442)	<b>99.5%</b> (99.7%)
認証保育所		58	58	47	45	48	48	153 (170)	151 (167)	<b>98.7%</b> (98.2%)
未通園児等	未通園児	340	61	246	26	230	19	816 (823)	106 (111)	<b>13.0%</b> (13.5%)
	区外通園児	155	19	149	11	176	14	480 (518)	44 (51)	<b>9.2%</b> (9.8%)
合計 (H29年度)		5,674 (5,628)	5,191 (5,148)	5,616 (5,771)	5,213 (5,323)	5,749 (5,805)	5,331 (5,405)	17,039 (17,204)	15,735 (15,876)	
<b>受診率</b> (H29年度)		<b>91.5%</b> (91.5%)		<b>92.8%</b> (92.2%)		<b>92.7%</b> (93.1%)		<b>92.3%</b> (92.3%)		

受診者の割合は、私立幼稚園・私立認定こども園が54.4%と最も多く、未通園児等は約1%となっている。

(図7) 在籍者、受診者の割合



(3) 未通園児等の未受診理由

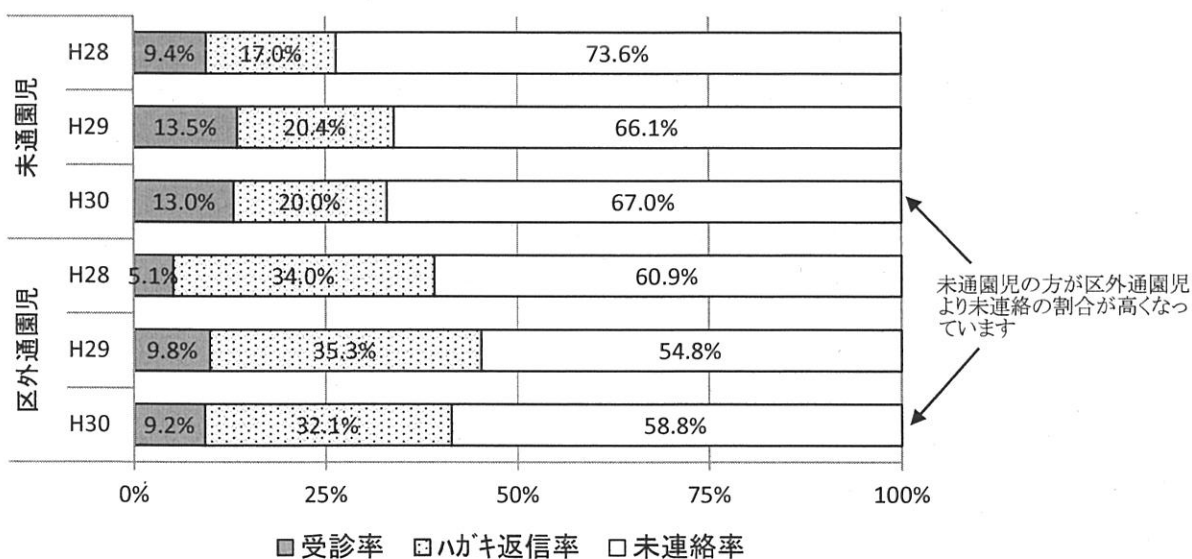
歯科健診の個別通知の際、健診を希望しない理由を調査するためのハガキを同封したところ、未通園児の20.0%、区外通園児の32.1%から返信があった。

(表4)

	対象者 (H29年度)	歯科健診受診		未受診			
		受診者 (H29年度)	受診率 (H29年度)	希望しないハガキ		未連絡	
				返信数 (H29年度)	返信率 (H29年度)	人数 (H29年度)	割合 (H29年度)
未通園児	816 (823)	106 (111)	13.0% (13.5%)	163 (168)	20.0% (20.4%)	547 (544)	67.0% (66.1%)
区外通園児	480 (518)	44 (51)	9.2% (9.8%)	154 (183)	32.1% (35.3%)	282 (284)	58.8% (54.8%)
合計	1,296 (1,341)	150 (162)	11.6% (12.1%)	317 (351)	24.5% (26.2%)	829 (828)	64.0% (61.7%)

希望しない理由(複数回答可)は、「歯科医院に通院している」「歯科医院で定期的にチェックしている」「通っている施設で受けた」が多くなっている。

(図8) 歯科健診を希望しない割合(ハガキ返信率)



(4) 「足立区保健衛生システム」登録数

受診者のうち、区内在住児の結果を「足立区保健衛生システム」に登録し、分析を行った。システム登録者数は14,928名で、受診者の94.9%であった。

(表5) ※受診者には区外在住児もいるため、受診者数と登録者数は一致していない。

	年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		システム登録合計(人)	
	受診者 (H29年度)	登録者 (H29年度)	受診者 (H29年度)	登録者 (H29年度)	受診者 (H29年度)	登録者 (H29年度)	受診者 (H29年度)	登録者 (H29年度)
人数	5,191 (5,148)	4,945 (4,868)	5,213 (5,323)	4,926 (5,058)	5,331 (5,405)	5,057 (5,134)	15,735 (15,876)	14,928 (15,060)
登録率	<b>95.3%</b> (94.6%)		<b>94.5%</b> (95.0%)		<b>94.9%</b> (95.0%)		<b>94.9%</b> (94.9%)	

(5) 歯科健診分析結果(足立区保健衛生システムに登録した子どもの歯科健診結果)

① 乳歯にむし歯がある子どもの割合(年齢別)

平成30年度の結果、乳歯にむし歯がある子どもの割合は、全年齢で減少した。

(表6) むし歯がある子どもの割合

	年少児(4歳)			年中児(5歳)			年長児(6歳)		
	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率
平成27年度	4,829	959	<b>19.9%</b>	4,856	1,473	<b>30.3%</b>	5,014	1,894	<b>37.8%</b>
平成28年度	4,925	823	<b>16.7%</b>	5,086	1,408	<b>27.7%</b>	4,983	1,903	<b>38.2%</b>
平成29年度	4,868	719	<b>14.8%</b>	5,058	1,324	<b>26.2%</b>	5,134	1,854	<b>36.1%</b>
平成30年度	4,945	591	<b>12.0%</b>	4,926	1,080	<b>21.9%</b>	5,057	1,672	<b>33.1%</b>

② 乳歯にむし歯がある子どもの割合(施設種類別)

施設種類別に「乳歯にむし歯がある子どもの割合」をみると、年齢が上がるごとに差が拡大している。

※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする(合計は含む)。

(表7)

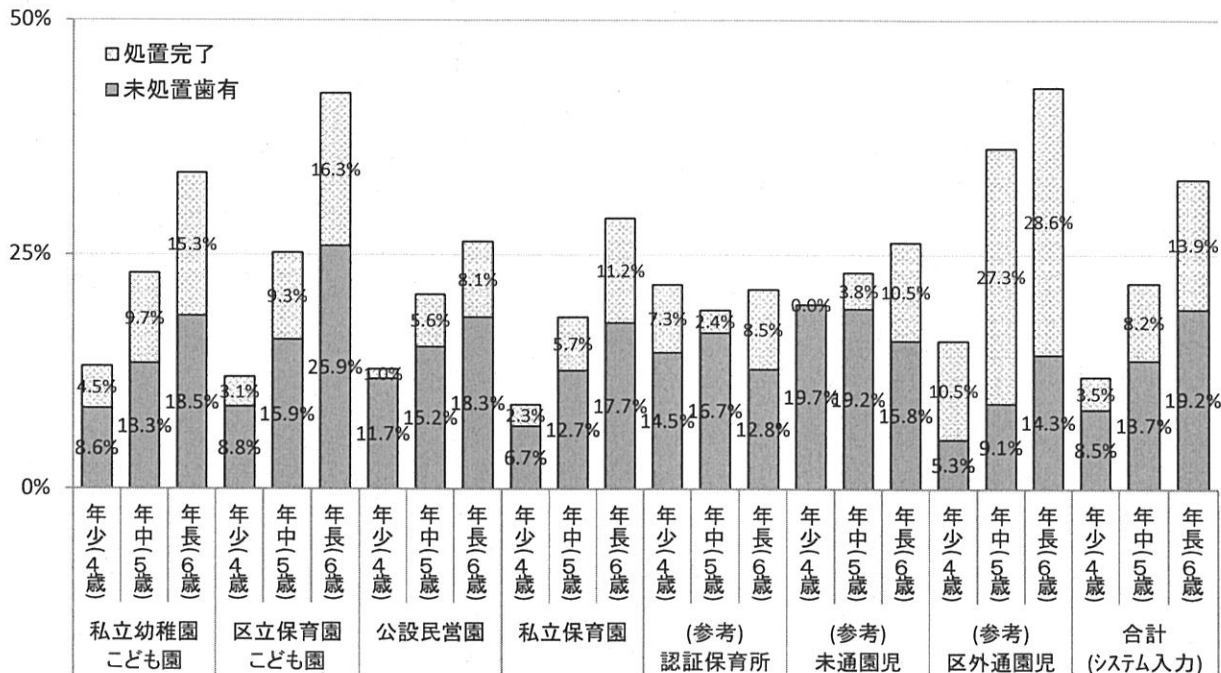
	年少児(4歳)			年中児(5歳)			年長児(6歳)		
	受診者	むし歯有	有病率 (H29年度)	受診者	むし歯有	有病率 (H29年度)	受診者	むし歯有	有病率 (H29年度)
私立幼稚園 私立認定こども園	2,526	330	<b>13.1%</b> (14.5%)	2,577	593	<b>23.0%</b> (24.5%)	2,720	917	<b>33.7%</b> (34.9%)
区立保育園 区立認定こども園	604	72	<b>11.9%</b> (18.7%)	659	166	<b>25.2%</b> (33.6%)	675	285	<b>42.2%</b> (40.9%)
公設民営保育園	290	37	<b>12.8%</b> (14.4%)	323	67	<b>20.7%</b> (25.7%)	322	85	<b>26.4%</b> (37.7%)
私立保育園	1,390	125	<b>9.0%</b> (12.8%)	1,288	236	<b>18.3%</b> (25.6%)	1,260	364	<b>28.9%</b> (35.1%)
(参考)認証保育所	55	12	<b>21.8%</b> (15.2%)	42	8	<b>19.0%</b> (14.5%)	47	10	<b>21.3%</b> (33.3%)
(参考)未通園児	61	12	<b>19.7%</b> (22.1%)	26	6	<b>23.1%</b> (42.9%)	19	5	<b>26.3%</b> (33.3%)
(参考)区外通園児	19	3	<b>15.8%</b> (6.7%)	11	4	<b>36.4%</b> (29.4%)	14	6	<b>42.9%</b> (52.6%)
<b>合計</b> (H29年度)	<b>4,945</b> (4,868)	<b>591</b> (719)	<b>12.0%</b> (14.8%)	<b>4,926</b> (5,058)	<b>1,080</b> (1,324)	<b>21.9%</b> (26.2%)	<b>5,057</b> (5,134)	<b>1,672</b> (1,854)	<b>33.1%</b> (36.1%)

③ 未処置のむし歯(乳歯)がある子どもの割合 (年齢別・施設種類別)

未処置歯がある子どもの割合は、全ての年齢で前年度より減少した。年長児を施設種別にみると、最も多い区立園が25.9%、最も少ない私立保育園が17.7%と8.2ポイントの差になっている。

※認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする(合計は含む)。

(図9) 施設種類別 むし歯がある子どもの割合(未処置歯有、処置完了者の割合)

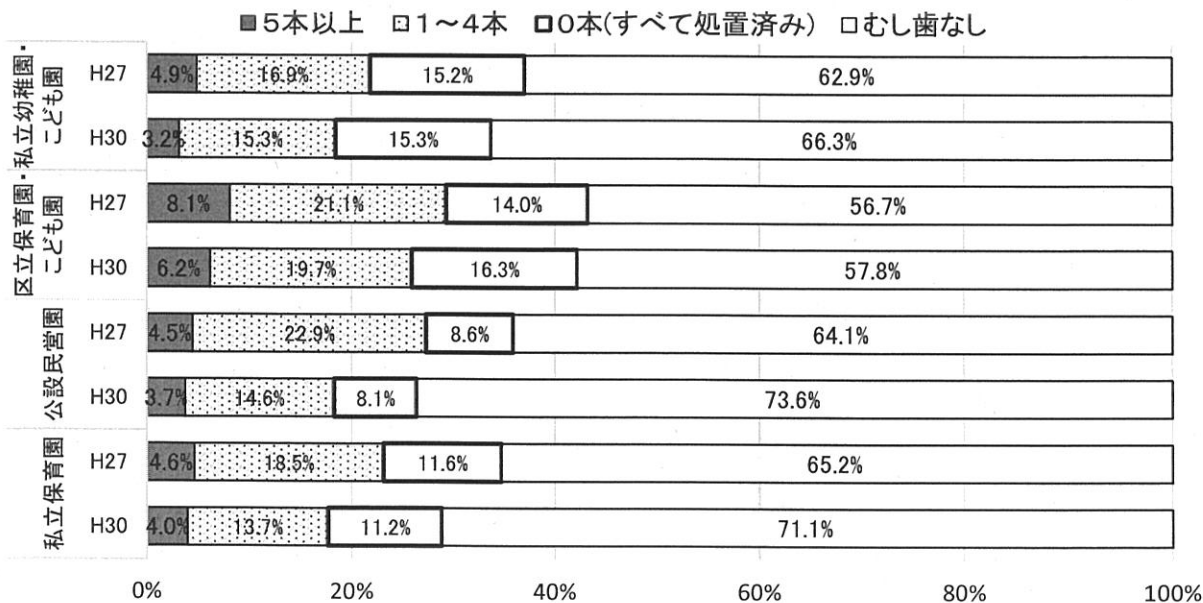


【参考】 29年度(合計)	処置完了率	年少	4.1%	年中	9.1%	年長	14.1%
	未処置有率	年少	10.7%	年中	17.1%	年長	22.0%

④ 施設種別・未処置のむし歯を5本以上もつ子どもの割合

5本以上未処置のむし歯をもつ子どもの割合は、すべての施設種別で27年度より減少している。30年度は、区立園が6.2%で、他と比較して高くなっている。

(図10) 施設種別・乳歯に5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合(H27年度・30年度比)





⑤ 受診報告書の提出状況【施設からの集計報告による実績値】

歯科健診後に、治療・相談が必要な子ども（※1）に対し、保護者が歯科医療機関を受診した結果が、教育・保育施設より受診報告書として提出されている（※2）。

なお、未通園児等の受診報告は、保護者から区に直接ハガキで報告する方法を採用している（※3）。

30年度における受診報告書の提出率の平均は64.7%で、29年度と比べて3.4ポイント増加した。

※1 未処置のむし歯(C)及びむし歯になりそうな歯(CO)がある、または歯肉、歯垢、かみ合わせで治療・相談が必要な子ども。

※2 概ね歯科健診から2か月程度経過した時点での報告率。

※3 未通園児等は、サンプル数が少ないため、参考値とする(合計には含む)。

(表8)

	年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		合計(人数)			
	発行数	報告数	発行数	報告数	発行数	報告数	発行数 (H29年度)	報告数 (H29年度)	報告率 (H29年度)	
私立幼稚園 私立認定こども園	567	318	728	414	908	532	2,203 (2,434)	1,264 (1,370)	<b>57.4%</b> (56.3%)	
区立保育園 区立認定こども園	121	100	171	134	254	186	546 (745)	420 (499)	<b>76.9%</b> (67.0%)	
公設民営保育園	69	56	81	55	123	89	273 (292)	200 (196)	<b>73.3%</b> (67.1%)	
私立保育園	278	213	339	244	422	304	1,039 (1,022)	761 (687)	<b>73.2%</b> (67.2%)	
認証保育所	14	11	10	6	10	4	34 (42)	21 (22)	<b>61.8%</b> (52.4%)	
未通園児等	未通園児	26	9	11	5	10	3	47 (25)	17 (19)	<b>36.2%</b> (76.0%)
	区外通園児	4	2	4	1	6	3	14 (10)	6 (8)	<b>42.9%</b> (80.0%)
合計 (H29年度)	1,079 (1,141)	709 (706)	1,344 (1,584)	859 (970)	1,733 (1,845)	1,121 (1,125)	4,156 (4,570)	2,689 (2,801)		
<b>報告率</b> (H29年度)	<b>65.7%</b> (61.9%)		<b>63.9%</b> (61.2%)		<b>64.7%</b> (61.0%)		<b>64.7%</b> (61.3%)			

## 2 あだちっ子歯科健診の概要

### (1) 目的

「足立区糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー」の一環として、むし歯が増えやすい年少児(4歳)～年長児(6歳)を対象に、(公社)東京都足立区歯科医師会、各保育施設、認定こども園、幼稚園等が連携・協調しながら、①統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、むし歯予防および早期の治療に繋がる取り組みを進めている。

#### 【あだちっ子歯科健診のポイント】

- ① 統一基準(帳票、健診基準等)の歯科健診を実施
- ② 健診後、歯科受診が必要な子どもの保護者に丁寧な受診勧奨を実施
- ③ 歯科健診結果の集計・分析・フィードバック

(2) 対象者

通園の有無に関わらず、年少児(4歳)から年長児(6歳)、全ての幼児

※区内の保育施設、こども園、幼稚園においては、在籍する区外在住者も含めて実施

(3) 実施方法及び今後の目標

① 統一基準の歯科健診

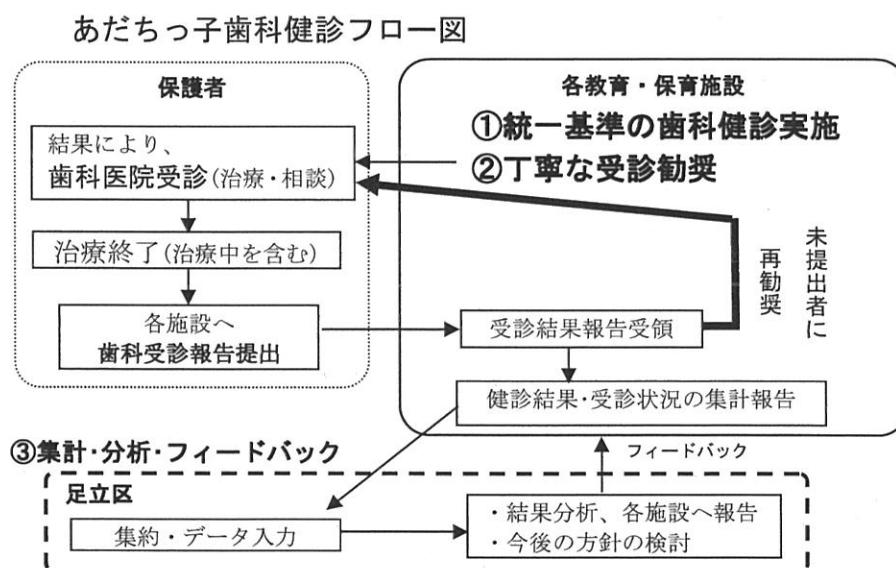
足立区歯科医師会に委託(区立認定こども園のみ嘱託医)し、施設および会員歯科診療所で歯科健診を実施する。足立区歯科医師会の協力のもと、施設内健診、会員診療所での未受診者健診等を行い、受診率向上を目指している。

② 受診勧奨

各保育施設・認定こども園・幼稚園のご協力のもと、保護者への丁寧な受診勧奨と受診報告書の確認をすることで、未治療の子どもを減らしていく。

③ 結果集計・分析・フィードバックと役割分担

各施設から歯科健診結果報告を受け、区は個人情報管理の適正な管理のもと保健衛生システムに登録の上、集計・分析を行う。分析結果から、園児や保護者が望ましい生活習慣を獲得できるように、効果的な「歯・口の健康づくりの取り組み」を検討・実施する。



**【問合せ先】**

●あだちっ子歯科健診の実施に関すること

足立区教育委員会子ども家庭部

子ども政策課子ども施策推進担当 03-3880-5266

●あだちっ子歯科健診の結果分析に関すること

足立区衛生部データヘルス推進課

多世代健康データ連携担当 03-3880-5601

